

高知精神保健

発行所 高知市丸の内1丁目2-20
 高知県地域福祉部障害保健福祉課内
 高知県精神保健福祉協会
 電話：088(823)1111・088(823)9669(直)
 FAX：088(823)9260
 E-mail：kochi-mhwa@s2.dion.ne.jp
 発行人 井上 新平 編集人 谷 晃

第249号

第3期高知県障害福祉計画について

平成23年度において高知県が策定した「第3期高知県障害福祉計画」についてその概要を抜粋し紹介します。

詳しくはホームページをご覧ください。

url : <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060301/hukusikeikaku.html>

はじめに

高知県では、障害のある人にとって必要な福祉サービスや相談支援などの提供体制が計画的に整備されるよう、障害者自立支援法に基づき、3年を1期とした高知県障害福祉計画を策定し、地域生活への移行や就労の支援といった取組を積極的に進めてきました。

こうした取組や関係の皆様のご協力により、地域での住まいの場となるグループホーム・ケアホームや、就労などを支援する事業所の整備が進み、サービスを利用される人も増加するなど、障害福祉サービスは着実に充実してきています。

その一方で、過疎化の進行する中山間地域における福祉サービスの確保や、発達障害など障害のある子どもへの支援の充実といった課題への対応が、これまで以上に求められています。

このため、平成24年度から平成26年度を計画期間とする第3期高知県障害福祉計画では、各地域において必要となる福祉サービスの確保や、障害のある子どもができるだけ早い時期から専門的な療育支援を受けられる体制の整備などについて、重点的に取り組むこととしています。

こうした取組を着実に進め、すべての障害のある

人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「高知型福祉」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、今後とも県民の皆様のご協力とご参加をお願い申し上げます。

最後に、この計画の策定にあたり、ご意見やご提言をいただきました「高知県障害者施策推進協議会」の委員の皆様をはじめ、関係者の方々に対しまして、心からお礼を申し上げます。

平成24年 3月 高知県知事 尾崎正直

計画策定にあたっての考え方

この計画は、障害のある人の自立と社会参加を基本とする障害者基本法の理念、高知県障害者計画の基本理念及び平成22年2月に策定した「日本一の健康長寿県構想」を踏まえて、次に掲げる点に配慮して策定します。

(1) 障害のある人もない人もともに安心して暮らせる社会の実現

ノーマライゼーションの理念のもと、障害のある人が移動やコミュニケーション、就労など必要な支

目次

第3期高知県障害福祉計画について	1
「G-Pネットこうち」を実施します	3
第52回中国四国精神神経学会・第35回精神保健学会を開催して	5
平成23年度自殺対策人材養成研修専門分野勉強会	5

地域医療研究会全国大会2011 in 高知	6
第15回文化交流会	7
「高知県精神保健福祉基金」助成について	8
ご芳志について	8

援を受けながら、地域の住民の一人として、その人らしく暮らし、障害のある人もない人も、互いに尊重し、支え合えるような地域づくりを推進します。

(2) 地域生活移行や就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備

障害のある人の自立支援の観点から、地域生活への移行や就労支援といった課題に対応したサービス提供体制を整えます。

(3) 「高知型福祉」の実現

高知県では、県民誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりに向けて、これまでの福祉という枠や概念を超えて、それぞれの地域の実態に即した、新しい福祉の形を地域で作上げていく「高知型福祉」の実現を目指した取り組みを進めています。

障害者福祉においては、障害者が生き生きと暮らせる地域づくりに向けて、サービスが不足している中山間地域のサービス提供体制の充実や身近な地域で専門的な療育支援を行う体制づくりなどに重点的に取り組むこととしています。

基本的な方向

計画にあたっての考え方を踏まえ、障害のある人が生き生きと暮らせる地域づくりを目指して、次の方向を目指します。

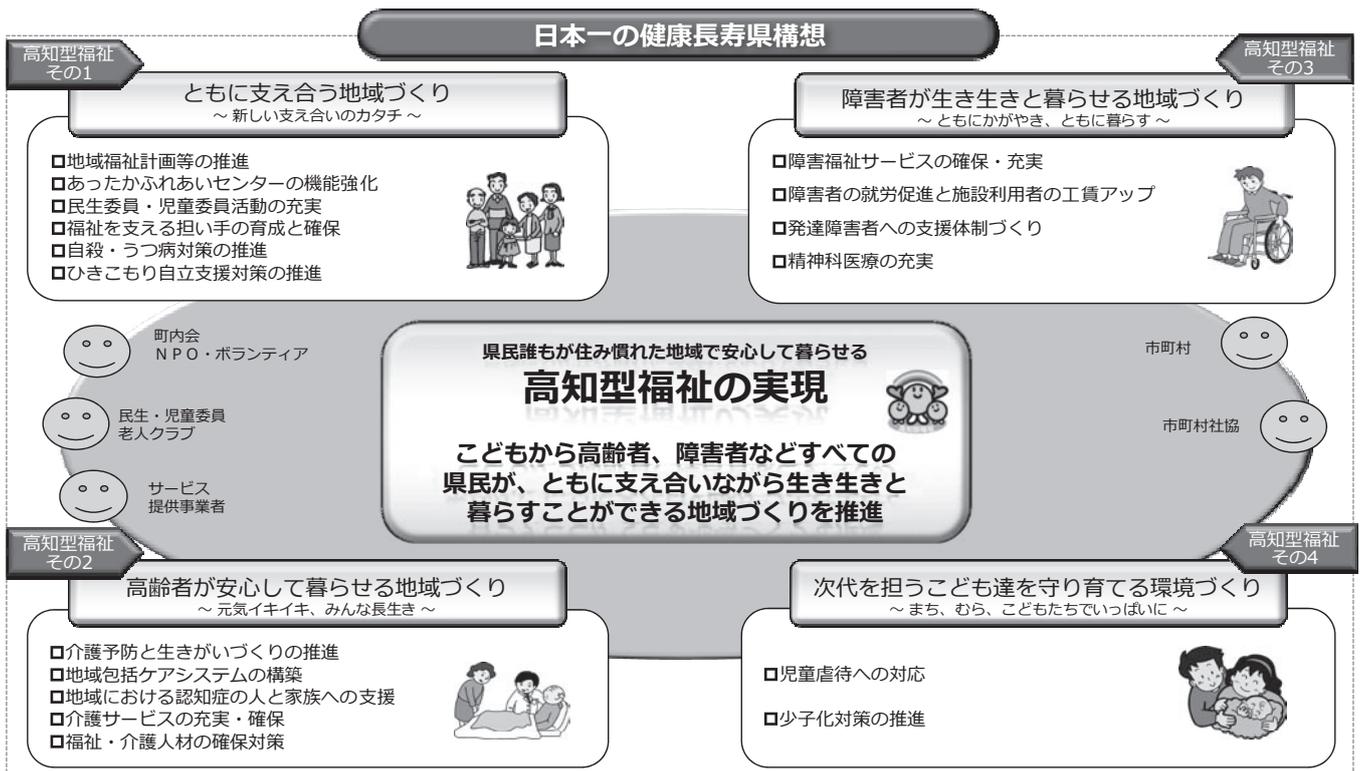
1 身近な地域におけるサービスの確保

県内どこに住んでいても、在宅でも施設でも、すべての障害のある人が住み慣れた地域で、24時間365日安心して暮らせるよう、身近な地域で必要なサービスを確保します。

2 障害児支援の充実

すべての子どもが、その持てる能力や可能性を伸ばしていけるよう支援を行い、その自立と自己実現を図っていけるよう育成していくことが大切です。

特に障害のある子どもは、できるだけ早い時期から適切な支援を行うことが将来の自立と自己実現につながっていくことを踏まえ、子どもの将来の自立に向けて発達を支援します。



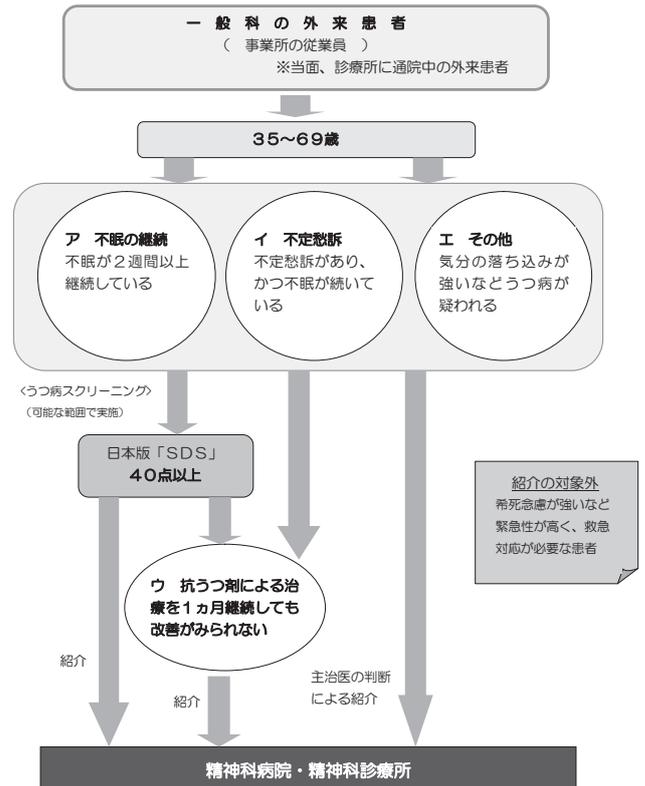
一般科医等から精神科医への紹介システム「G-Pネットこうち」を実施します。

全国の年間の自殺者が3万人を超える状態が14年間続き、本県でも毎年200人前後の方が自ら命を絶っており、人口10万人あたりの自殺死亡率では全国的にも高い水準で推移するなど、大変深刻な状況となっています。

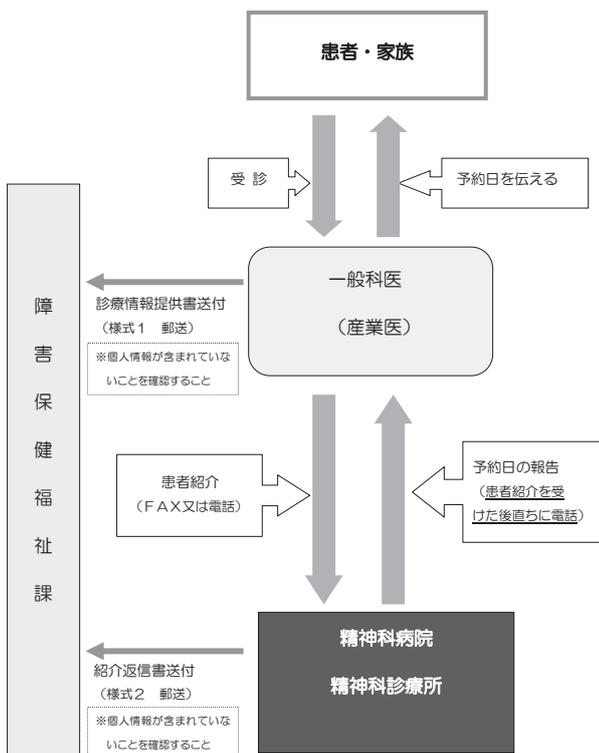
このため、本県では「かかりつけ医・精神科医ネットワークづくり事業」を平成22年度から立ち上げて、うつ病の早期発見・早期治療をめざした紹介システム「G-Pネットこうち」を構築し、そのモデル実施に取り組んできました。

このたび高知市内において、一般科診療所59か所と精神科医療機関19か所が参加し、本格的に運用を実施します。

一般科医等から精神科医への紹介者の選定基準



一般科医等から精神科医への紹介システム概要



G-Pネットこうち

ホームページ

URL: <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/>

060301/23g-pnettokouti.html

毎月10日はフリーダイヤル

気にかける。
声をかける。

それだけで
ほっとする。

自殺予防 いのちの電話
「今生きて 歸してください あなたのことを」

0120-738-556
毎月10日(祝)24時間・無料です(土日)



NPO法人

高知いのちの電話

相談電話番号

088-824-6300



携帯電話は
こちらから

携帯サイトURL

<http://www4.ocn.ne.jp/~k-inochi/mobile/index.html>

「地域医療研究会全国大会 2011 in 高知」

日時:平成23年10月29日(土)・30日(日)
場所:高知市文化プラザかるぽーと

2年に一度開催されている「地域医療研究会全国大会」が平成23年度は高知県で開催され、同大会で初めて精神科領域の分科会が開かれました。

分科会 I 精神医療の現状と課題
精神科救急(急性期)医療と地域移行・生活支援を巡って

コーディネーター

朝日俊弘 元参議院議員、医療法人一陽会陽和病院

シンポジスト

中島豊爾 岡山県精神科医療センター理事長
「日本の精神科医療の来し方行く末」

長野敏宏 財団法人正光会御荘病院院長
NPOハートinハートなんぐん市場理事
「小さな田舎町の精神保健福祉住民活動の実践より」

杉本雅史 社会福祉法人てくとこ会地域活動センター長
「精神科医療と地域福祉の課題」

武田廣一 社会福祉法人さんかく広場理事長
「精神保健福祉もアフターケアからプライマリーケアへ」

第52回中国四国精神神経学会 第35回精神保健学会を開催して

高知大学医学部神経精神科学教室 藤田博一

例年、秋に開催されている、中国四国精神神経学会ならびに精神保健学会は、平成23年11月18日(金)、19日(土)の2日間、高知会館にて開催されました。精神神経学会は当教室の井上新平教授、精神保健学会は高知県精神科病院協会の清水博会長がそれぞれ大会長を務めました。

テーマとして「社会との連携に根ざした新しい精神科診療」を掲げ、2つの特別講演、とシンポジウム、そして一般演題を企画しました。特別講演は、東京勤労者医療会代々木病院伊勢田堯氏による「近年の英国における精神保健改革—その到達点と注目点」、NPO法人ワークスみらい高知の竹村利通氏による「Not Charity But the Chance!~保護より機会を!~」を頂きました。また、シンポジウムでは、大会テーマと同じ「社会との連携に根ざした新しい精神科診療」、そして「大震災から学ぶ」という2つのテーマで討論が行われました。特に、震災のシンポジウムでは、被災者支援に従事されている、東北大学の精神科医の佐久間篤氏と、岩手県山田町の保健師菊池ひろみ氏をお招きして、震災後の被災者支援の実際を直接聞く機会を得ました。高知県でもいつか起こると言われている南海大地震への備えについて改めて考える機会となりました。



学会の様子



学会の様子

一般演題は、約80演題の応募がありました。内容は、日常の臨床に即したのものから、統合失調症モデル動物のラットを用いた基礎研究まで幅広く、どれもレベルが高いものばかりでした。

2日目は、朝から大雨となり、土讃線が一時止まってしまうハプニングもありましたが、2日間で約300名の参加がありました。

最後になりましたが、当日、高知県内の各施設より、スタッフの派遣など数多くのご支援を賜りました。ありがとうございました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

平成23年度 自殺対策人材養成研修 専門分野勉強会

身近な人を自死（自殺）で亡くした方々への支援には様々な相談機関が関わることがありますが、遺族自身、自死であるが故に悲しみや悩みを語ることをためらい誰にも話をするのができなかつたり、相談窓口の対応に気持ちを傷つけられたと感じることもあります。また、相談対応でどのような配慮をしたらいいか分からず戸惑う支援者もいます。そこで今回、医療や保健福祉の現場の援助職を対象に、須崎市及び高知市で自死遺族の方の話を聴く勉強会を開催しました。

【主催】

自殺予防情報センター（高知県立精神保健福祉センター）

【対象】

市町村、福祉保健所、医療機関、各種相談機関の相談員、各教育関係機関職員等

【日時】

第1回 平成24年2月21日(火) 14:00～16:00

第2回 平成24年2月22日(水) 10:00～12:00

【会場】

第1回 須崎市総合保健福祉センター 2階会議室（須崎市山手町1-7）

第2回 高知城ホール 2階中会議室（高知市丸ノ内2丁目1-10）

【参加者数】

第1回 40名

第2回 53名

【内容】

- ※第1回、第2回とも内容は同じです。
- 講演「自死遺族支援で大切なこと～遺族の立場から～」

講師 ころろのカフェきょうと代表

石倉絃子 氏

大切な人を自死で亡くした悲しみとともに、残された家族には生活を維持していくために様々な問題を抱えることになります。相談担当者は、経済的な問題や子育ての悩みなど遺族それぞれの状況を理解し、問題解決につながる支援を考えてほしい。遺族が自分の気持ちを語り合い、分かち合う会も遺族支援の一つ。

娘を自死で亡くした遺族の方から体験発表

- 自死遺族のためのパンフレット紹介



平成23年度 第2回 高知県精神保健 福祉関係機関連絡会

日 時:平成24年3月13日(火)
場 所:高知城ホール

1. 各団体の最近の話題と平成24年度活動計画予定についておもなもの(順不同)

高知いのちの電話協会

電話相談の年間件数が1万件に。

10月6日(土)・7日(日)、いのちの電話第24回中四国大会高知大会

高知県断酒連合会

7月29日(日)、高知酒害サマースクール(高知会館)

精神保健ボランティア ほっとはあと

3月15日(木)、第16回ソフトバレーボール大会(高知市総合体育館)



ソフトバレーボール大会

高知県社会福祉協議会

平成25年にねんりんぴくとボランティア全国大会が高知県で開催される。

福祉サービス第三者評価事業について、児童福祉事業については3年に一度の受診が義務化された。

高知県精神障害者地域生活支援施設連絡会

3月17日(土)、防災マニュアルと支援ネットワーク学習会(高知市保健福祉センター)



施設連絡会学習会

日本精神科看護技術協会

高知県支部

7月14日(土)、こころの日事業講演会(「生きテク」代表オキタリュウイチ氏、高新文化ホール)

高知県精神保健福祉士協会、高知県臨床心理士会など11月に「多職種事例検討会」



精神保健福祉関係機関連絡会の様子

2. 報告「南海地震に際しての精神保健医療関連の県の取組み」

高知県地域福祉部障害保健福祉課

平成21年2月、高知県南海地震対策行動計画を策定。その後「災害時のこころのケアマニュアル」を作成する一方、これを活用した人材育成に取り組んでいた。

平成23年3月11日の東日本大震災の発災後、官民協働多職種の「高知県心のケアチーム」を組織し、岩手県下閉伊郡山田町へ延べ89人の派遣を行った。

この活動を通じて、①高知県で南海地震などの災害発生時における心のケア体制や、②長期にわたる対応を含む総合的なマニュアルづくり、③それに携わる人材育成などの課題も明らかとなり、平成24年度からはこれに取り組む。

参考:

高知県「災害時のこころのケアマニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060301/keamanyuaru.html>



第15回

文化交流会

I と き 平成24年2月28日(火)

II と ころ 高知県立美術館ホール

平成23年度 第15回文化交流会受賞結果

- ・文化交流会大賞 高知ハーモニー・ホスピタル
- ・パフォーマンス大賞 藤戸病院
- ・ベストヒット個人賞 白雪姫(高知ハーモニー・ホスピタル)
- ・グッドデザイン賞 田辺病院
- ・如月大賞 石川記念病院



石川記念病院コーラス
「いの町歌」他



南国病院コーラス
「ゲゲゲの鬼太郎」他



土佐病院
「ファッションショー」



芸西病院合奏 & 合唱
「嵐を呼ぶ男」他



藤戸病院コーラス
「希望の歌～交響曲第九番」



海辺の杜ホスピタル
「アニメソングに合わせて
キャラクターが紛争」



高知ハーモニーホスピタル
演劇「白雪姫」



お楽しみ抽選会

「高知県精神保健福祉基金」 助成について

高知県精神保健福祉協会が、平成23年10月に公募した「高知県精神保健福祉基金」助成事業については、平成24年1月の選考委員会において助成先を選考し、同月の当協会理事会で下記の助成先を決定し、2月中に助成を行いました。

記

助成先(順不同)

- 社会福祉法人TOSAいづみ
めざめ
- 社会福祉法人土佐あけぼの会
地域活動支援センターあけぼの
- 社会福祉法人土佐あけぼの会
風車の丘 あけぼの
- 社会福祉法人てくとこ会
多機能型事業所 オーシャンクラブ
こだまの会
- 土佐市地域活動支援センター
- 特定非営利活動法人ひだまり高知
- 特定非営利活動法人ゆうハート安芸の会
- 特定非営利活動法人
障害者就労支援ローカルネットワーク
- 社会福祉法人昭和会あゆみPasso
- DAY展実行委員会

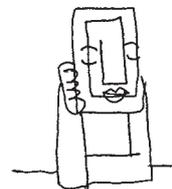
御芳志への御礼

本年度の協会活動へのご寄付ありがとうございました。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 朝倉病院 | (有)三和水産 |
| 上町病院 | 三誠産業(株) |
| 国吉病院 | 四国医療サービス(株) |
| だいいちリハビリテーション病院 | 四国電力(株)高知支店 |
| 谷岡内科小児科 | 四国電話工業(株) |
| 恒石皮膚科 | (株)城西館 |
| 出原診療所 | 篠原化学薬品(株) |
| 函南病院 | 大伸フーズ(株) |
| 長尾神経クリニック | (株)太陽 |
| ハンズ高知フレッククリニック | 新高知基準寝具(株) |
| 山下脳神経外科 | (有)フジムラ |
| 宇賀 茂敏 | 西内株式会社 |
| 大杉中央病院 | 黒岩工業(株) |
| 石黒小児科 | 四国コカ・コーラボトリング(株) |
| 葛岡 哲男 | (財)豊仁会 |
| 酒井医院 | アステラス製薬(株) |
| 坂本内科 | エーザイ(株) |
| 須崎くろしお病院 | MSD(株) |
| 関田病院 | 大塚製薬工場(株) |
| 田野病院 | 協和薬品工業(株) |
| 津田クリニック | グラクソスミスクライン(株) |
| 森木病院 | 大日本住友製薬(株) |
| イカリ消毒(株) | 武田薬品工業(株) |
| (株)池田商店高知支店 | 中澤氏家薬業(株) |
| (有)石元食品 | 明治製菓(株)薬品高知営業所 |
| 高知ビル美装(有) | ヤンセンファーマ(株) |
| (有)高知タマモ食品 | (敬称略:順不同) |



たとえば、
ナイチンゲールだったら
どうするだろう、
と考える。



彼女の直筆の文字を使った
このマークを見るたびに、いつも、
自分たちに問いかけています。



ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ
<http://www.eisai.co.jp>